

原因分析に関するアンケート回答集計結果

1) アンケートの実施

対象者：2017年1月から2018年3月までに「原因分析報告書」を送付した保護者528人と473分娩機関（当該分娩機関399件・搬送元分娩機関74件、重複は除く）

実施期間：2018年9月20日送付～2018年10月22日（回答期限）

アンケート形式：無記名式

2) アンケートの目的

○原因分析報告書が保護者や分娩機関にとってわかりやすい内容か、原因分析が行われて良かったか等、報告書に対する意見や感想について当事者にアンケートを行い、今後の原因分析の改善に生かすこと。

○原因分析に対する直近の評価を確認し、これまでに実施した4回のアンケート結果と比較検討すること。

3) アンケート回収率

(単位：件、%)

		保護者	分娩機関
2018年 (今回)	送付件数	528	473
	回答数	328	301
	回答率	62.1%	63.6%

<参考：過去4回の送付件数、回答率>

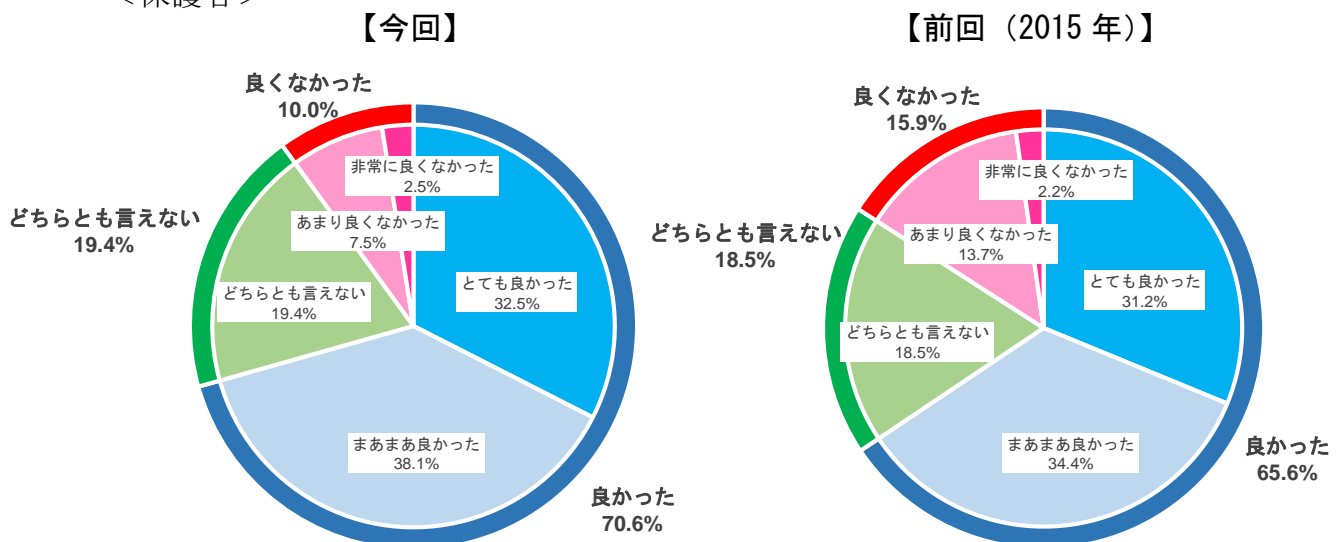
(単位：件、%)

		保護者	分娩機関
2015年	送付件数	460	377
	回答数	310	238
	回答率	67.4%	63.1%
2013年	送付件数	108	126
	回答数	54	70
	回答率	50.0%	55.6%
2012年	送付件数	67	75
	回答数	37	41
	回答率	55.2%	54.7%
2011年	送付件数	20	24
	回答数	8	17
	回答率	40.0%	70.8%

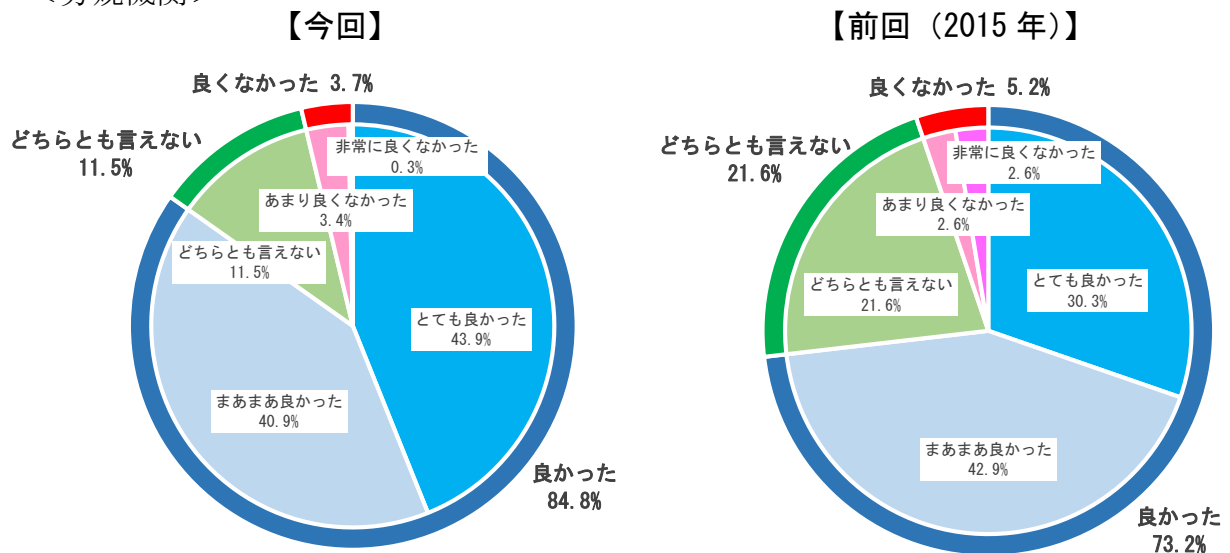
4) 主なアンケート結果

○「原因分析が行われて良かったですか」について「とても良かった」「まあまあ良かった」を合わせた割合は保護者 70.6%、分娩機関 84.8%と共に高かった。前回は保護者 65.6%、分娩機関 73.2%であり前回より保護者、分娩機関とも増加している。原因分析が行われて良かった点としては、保護者、分娩機関とも前回同様に「第三者による評価が行われたこと」が多かった。

<保護者>



<分娩機関>



【原因分析が行われて良かった主な点】 複数回答あり

<保護者>

・第三者により評価が行われたこと	174件
・今後の産科医療の向上に繋がること	126件
・再発防止に役立つこと	92件
・原因がわかったこと	81件
・気持ちの整理がついたこと	79件

<分娩機関>

・第三者により評価が行われたこと	209件
・振り返る良い機会になったこと	169件
・今後の産科医療の向上に繋がること	163件
・改善すべき点が明確になったこと	126件
・原因がわかったこと	111件

【原因分析が行われて良くなかった主な点】 複数回答あり

<保護者>

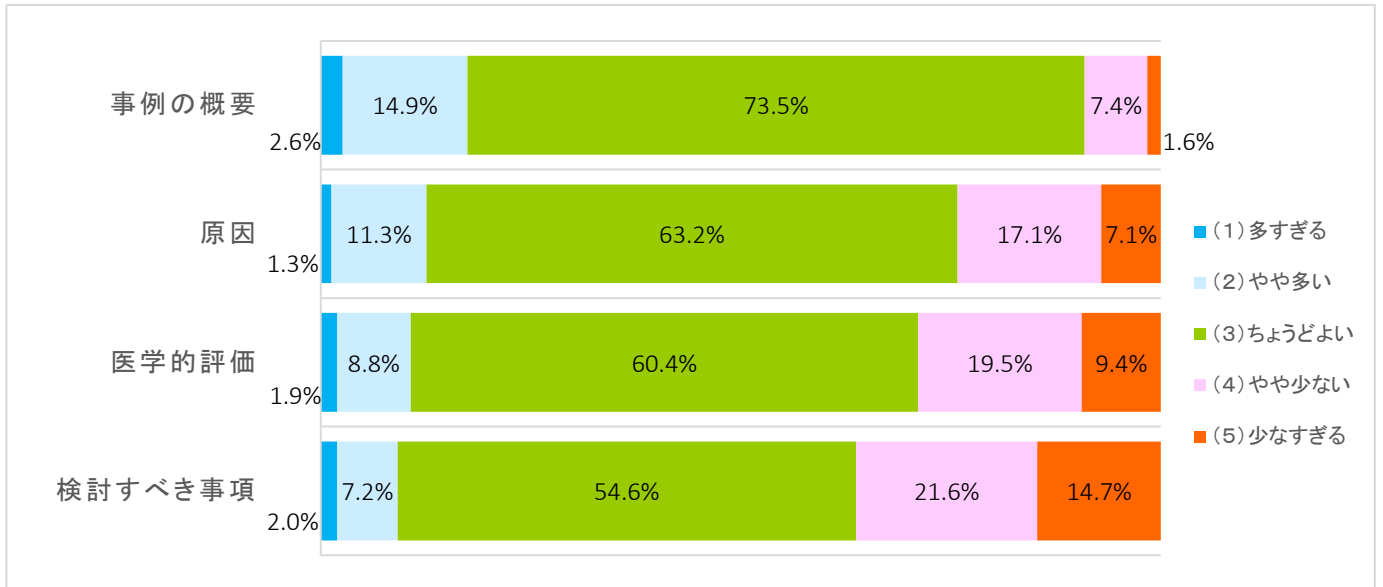
・結局原因がよくわからなかったこと	19件
・今後の産科医療の向上に繋がるとは思えないこと	19件
・思い出すことで辛い思いをしたこと	15件
・分娩機関や医療スタッフに対する不信感が高まったこと	12件
・公正中立な評価だと思えないこと	6件

<分娩機関>

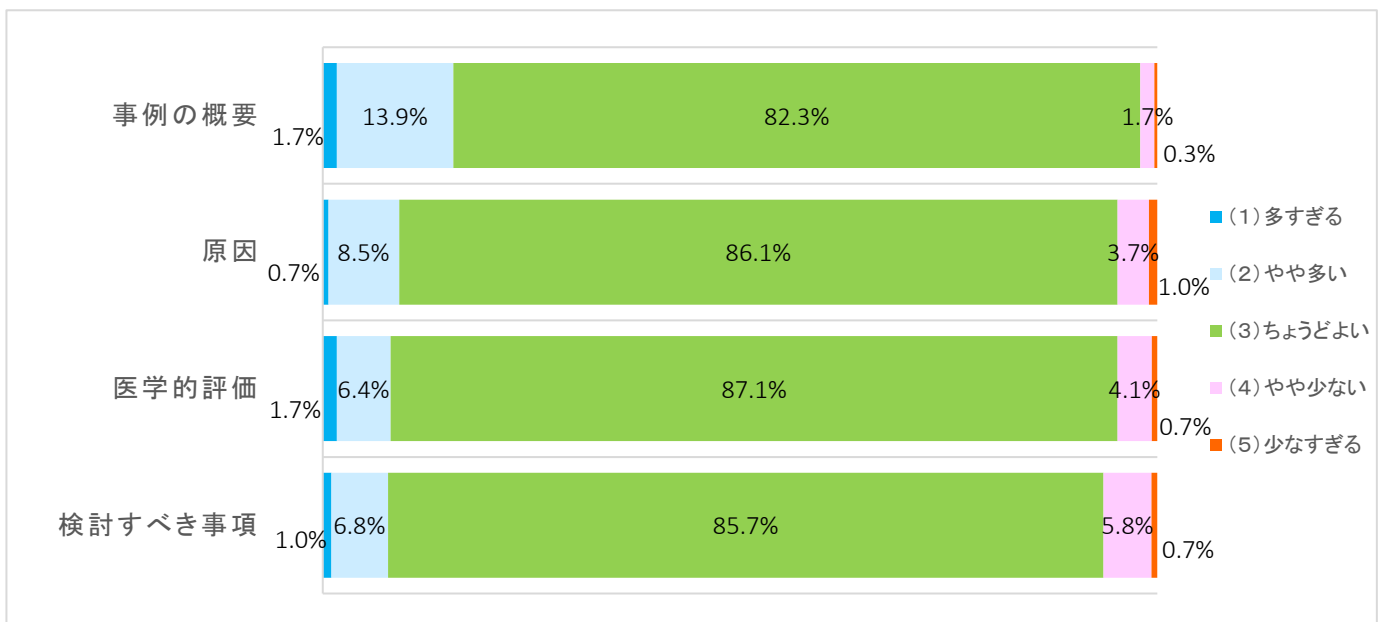
・公正中立な評価だと思えないこと	9件
・結局原因がよくわからなかったこと	7件
・今後の産科医療の向上に繋がるとは思えないこと	7件
・分娩機関や医療スタッフに対するご家族からの不信感が高まったこと	6件
・その他	2件

○「原因分析報告書の各パートの文字数」について、「ちょうどよい」が保護者「事例の概要：73.5%」、「原因：63.2%」、「医学的評価：60.4%」、「検討すべき事項：54.6%」、であり、分娩機関「事例の概要：82.3%」、「原因：86.1%」、「医学的評価：87.1%」、「検討すべき事項：85.7%」であった。

<保護者>

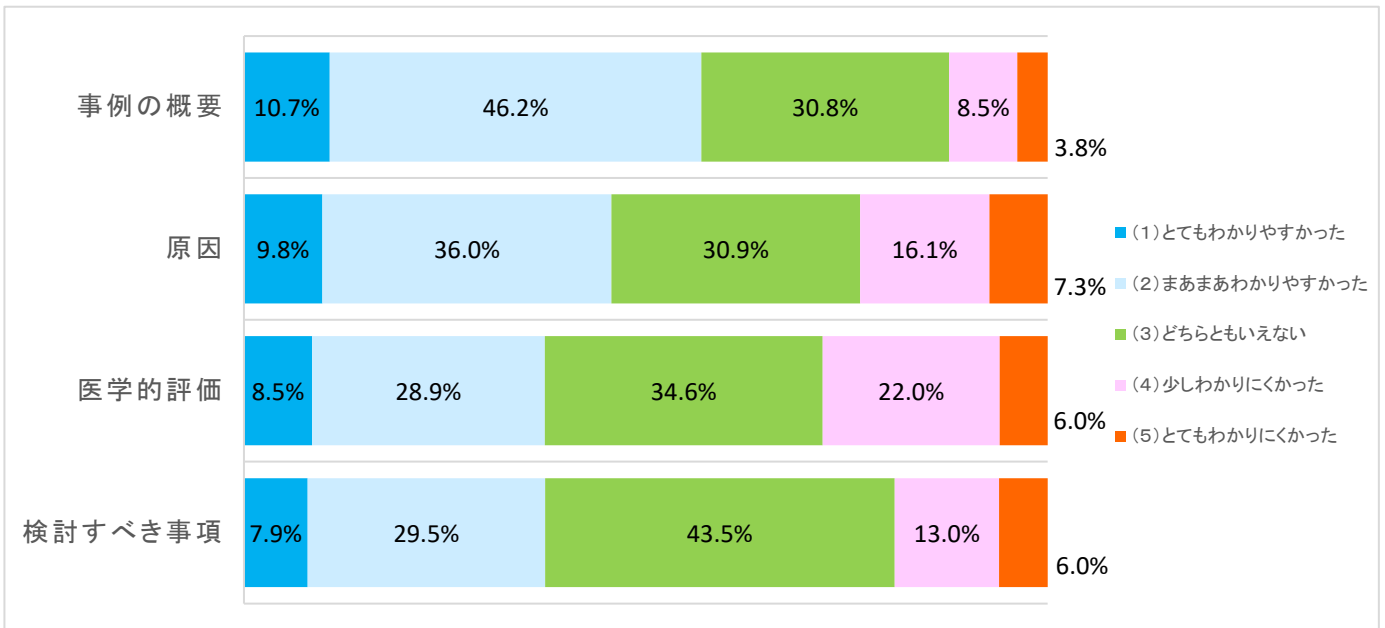


<分娩機関>

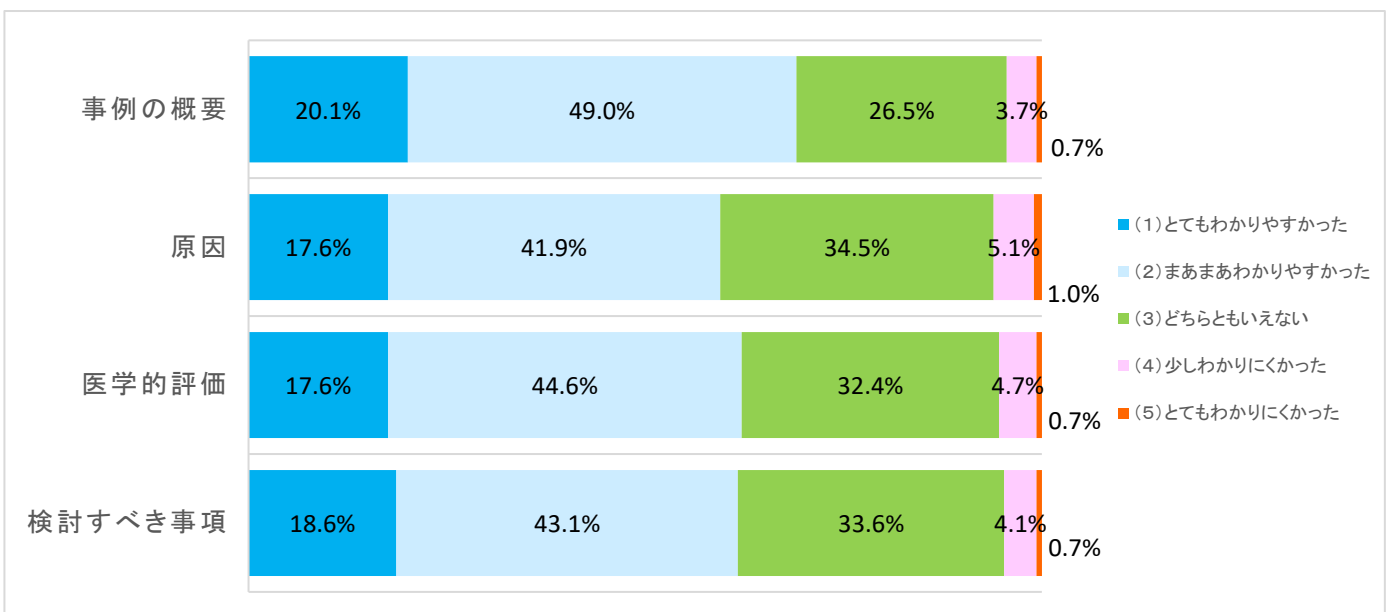


○「原因分析報告書の各パートのわかりやすさ」について「とてもわかりやすい」「まあまあわかりやすかった」を合わせた割合は保護者「事例の概要：56.9%」、「原因：45.8%」、「医学的評価：37.4%」、「検討すべき事項：37.4%」であり、分娩機関「事例の概要：69.1%」、「原因：59.5%」、「医学的評価：62.2%」、「検討すべき事項：61.7%」であった。「わかりにくかった」理由として保護者は「医学的用語が多くわかりにくかった」が多く、分娩機関では「医学的評価の定義がよくわからなかった」が多かった。

<保護者>



<分娩機関>



○保護者の「原因分析報告書をご覧になった後の分娩機関や医療スタッフへの気持ちの変化」について「良いまま変化はなかった：33.3%」「悪いまま変化はなかった：41.2%」を合わせて「変化がなかった」は74.5%であった。

○分娩機関の「原因分析報告書を院内で周知、活用されましたか」について「周知、活用した」が77%であった。院内での周知については「院内でカンファレンスや事例検討会を開いた」が多かった。

以上